



里山レンジャー

「めざせ！ 百間川博士」(令和6年7月21日)
今回は活動の場所を山から川へ！百間川について学びました。



最初は、就実森の学校の石田先生から、百間川のはたらきや防災についてのお話を聞きました。晴れの国とはいえ、昔から洪水の多い岡山の城下町(岡山市)を守るために百間川は作られたことを学びました。



自然豊かな百間川にどんな生きものがいるのか、また川で活動する時の注意点などを里山ボランティアの友延さん、松本さんに教えてもらいました。魚だけでなく昆虫や鳥、たくさんの生きものに会えるといいですね♪



せせらぎ広場へ移動途中、消防車や救急車の見学をさせてもらいました。今までの「めざせ！防災博士」で様々な事を勉強してきたレンジャーは真剣に消防士さんの説明を聞いていました。



さあ、川に入って生き物さがしスタート！川遊びになれているレンジャーも多く、魚がかけているポイントさがしもお手の物！スタッフもアミを持ち童心に帰り、和やかな時間を過ごしました。



西日本豪雨の時も旭川から百間川に水が流れましたが、「江戸時代に作られた防災の仕組みが、今も役立っているのがすごいと思った」「荒手(あらて)という堤防が三つあり、洪水の被害が減っているんだ」という感想がありました。今回は魚、エビ、昆虫、貝など24種類を見つけることができましたが、「狭い範囲で多くの生きものがあることに驚いた」とか「川のせまいところにたくさん魚がかけていた」など、川での体験はとても楽しかった様です。いつも見ている百間川の歴史や防災、またそこに生息する生きものについて学ぶことができ、保護者の方からも「興味深い話が聞けて良かった。」と好評でした。夏休みに入ったばかりのイベントでしたが、自由研究のきっかけになればうれしいですね。